

## 校区活動事例

### 宮竹校区：みやたけ吹奏楽のつどい2019

期 日	令和元年11月24日（日）		
場 所	宮竹小学校体育館		
参加者数	出演者：小学生9人、中学生21人、宮竹吹奏楽団（大人）44人 スタッフ：小学校保護者11人、中学校保護者25人、小中学校教諭3人 来場者：200人		
主 催	宮竹校区青少年育成連合会		
協力団体	宮竹吹奏楽団、宮竹小学校区吹奏楽部、宮竹中学校吹奏楽部 みやたけ会（自治協議会）、宮竹公民館、宮竹小学校、宮竹中学校		
準 備	広 報	周 知	みやたけだより、ポスター掲示 自治協議会運営委員会での周知
		募集方法	観覧自由
	事前打ち 合わせ	回 数	5回
		時 期	打ち合わせ 9/26、10/17、11/7 合同練習 11/16、11/23
		内 容	地域への周知方法および集約、当日スケジュールの調整、食事の準備、当日の運営等の確認

#### ■事業概要・目的

2006年に当時の公民館長の呼び掛けにより三者合同の演奏会を初めて開催しました。

小学生の吹奏楽部や大人の楽団が校区にあるのはめずらしく、中学校吹奏楽部を加えたこの合同演奏会を通して世代間の垣根を超えた交流を図り、宮竹校区を音楽のあふれる地域にして、青少年の健全育成にも寄与していく趣旨で開催しています。

#### ■事業実施にあたって工夫した点、苦勞した点

今年で16年目になり、形骸化しないような広報を心掛け、少しでも多くの人に来てもらうようにしています。また合同演奏にむけて一緒に練習する時間は少ないですが、短時間で成果を上げるように努力しています。

#### ■事業の成果、課題

演奏する小学生は中学生の姿勢を、中学生は楽団の方の姿勢を学び、楽団の方は小中学生から元気をもらうなどの相乗効果があります。小学生の部員が少なくなっており、少しでも多くの子供が音楽に興味を持ってもらえるように、また音楽で心を癒す機会を今後も続けていけるように活動を考えていきたいと思えます。



本番に向けて猛特訓！！



いざ本番！♪たくさんの方が聴きにきてくださいました



最後はみんなでハイ、チーズ！ お疲れさまでした